

輸送の 安全確保に 向けて

安全で快適な鉄道運行のために、ハードとソフトの両面から安全確保への取り組みを行っています。お客様の視点でリスクを把握し、各種安全対策を充実させるとともに、緊急時に迅速・確実に対応できるよう訓練を重ね、二次災害防止を図ります。

人材育成

輸送の安全確保のための人材の量と質の確保・対策状況

乗務員の養成と資質管理

お客様の生命をお預かりする立場として、乗務員の使命は重大です。当社では、運転士 666 名、車掌 431 名が乗務しています（2021 年 3 月 31 日現在）。

当社には、国土交通省の指定を受けた養成所として「鉄道研修センター」があり、ここで多くの運転士を養成してきました。また、鉄道研修センターでは車掌の養成も行っています。今後も、お客様の「安心」「信頼」のために、「安全」を守る乗務員の養成に全力で取り組んでまいります。

● 運転士・車掌の養成

運転士・車掌の養成は、鉄道研修センターで所定の学科を学んだ後、各乗務職場に配属され指導運転士・指導車掌のもとマンツーマンで乗務しながら技能を習得していきます。



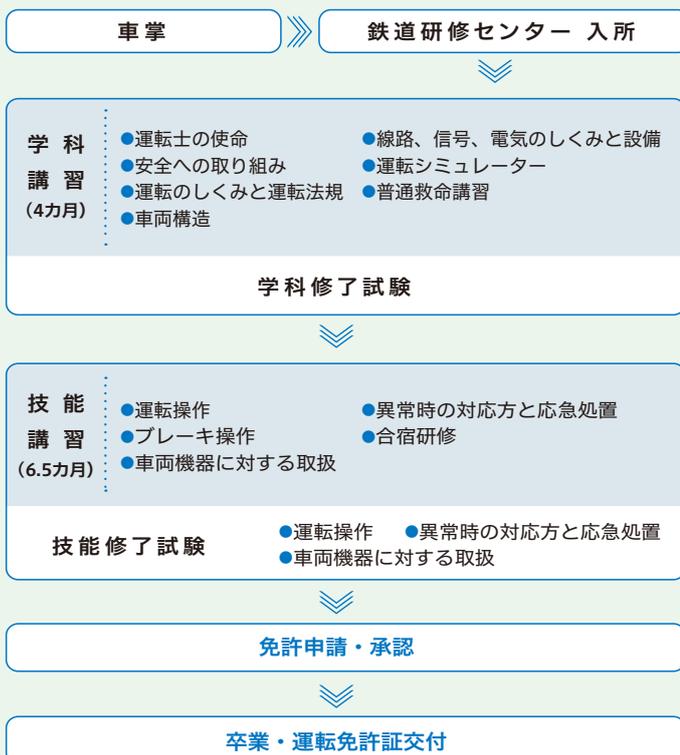
運転シミュレーターを使った訓練



車掌養成における現車教習

▶ 運転士養成の流れ

運転士は、列車を運転するための国家資格である動力車操縦者運転免許が必要であるため、約 11 カ月間の講習を受けた後、修了試験（国家試験）に合格することで運転免許を取得することができます。



▶ 車掌養成の流れ

車掌は約 3.5 カ月間の講習を受けた後、修了試験に合格することで、単独乗務ができます。



● 乗務員の技能の維持・向上と資質管理

運転士・車掌になってからも、定期的に適性検査や講習・訓練を実施することで、技能の維持・向上に努めています。また、各乗務職場の区長が乗務員指導管理者として運転士・車掌に必要な教育・訓練を実施するとともに、資質管理の状況を定期的に運転管理者へ報告しています。

そのほか、監督者が列車に添乗し乗務員が正則作業を厳守しているか確認しています。

● アルコールチェックと健康管理

乗務員は、乗務前に必ず監督者による健康状態の確認を受けるほか、アルコールチェックの実施を徹底しています。また、定期的に健康診断も実施しています。



乗務前にアルコールチェックを行い、監督者が管理を徹底しています



点呼時には監督者が乗務員の健康チェックを行います

● 車掌の基本動作訓練

車掌は養成時に車掌シミュレーターを用いて、乗務における基本動作や異常時の対応方法を訓練します。また、急遽列車を停止させる必要が生じたときのために、養成時から非常ブレーキ操作訓練を行っています。さらに、ホームドアの取り扱いについても、各職場での教育に加え、鉄道研修センター内でも教習を行っています。



車掌シミュレーターを使った訓練



ホームドア取り扱いの教習

安全をつくる意識向上と技術伝承

現場での作業における安全意識向上に向けた取り組みや、設備や施設のメンテナンス作業などに必要な技術を伝承するための取り組みを行っています。

● 危険体感研修

危険体感研修は、墜落制止用器具（安全带）の装着や高所歩行、高所からの工具落下や感電などの体験をすることで、作業上発生しうる危険なポイントを伝える訓練です。経験の浅い若手社員に対し、事故防止の意識向上を図るために実施しています。



高所歩行体験で高さ約2メートルの狭い通路を歩行する若手従業員と、危険動作がないように見守る講師陣



墜落制止用器具（安全带）を装着した疑似体験

● 競技会・講習会

技術部門では、設備の更新に伴う機器の性能向上により、部品などの故障や劣化による取り替えが少なくなってきた現状を踏まえ、組織の技術力強化やベテランから若手への技術伝承、従業員のモチベーション向上などを目的として、競技会や講習会を定期的実施しています。



車両部門での技能競技会：車輪の打音検査作業を採点している様子



電気部門での技術競技会：電車線のはり替え作業の様子



工務部門での列車接近時の待避訓練：列車見張員による接近する列車の運転士への合図のための旗振り訓練



保線部門でのレール切断訓練